

平成29年度決算概要

主な決算の概要は以下のとおりです。

業務報告

■道路建設

春日パーキングエリア上り線は、交通量の増加に伴ってパーキング利用者が増加し、駐車場の混雑が頻繁に発生していることから、安心して快適に休憩していただける施設づくりを目指し、駐車場拡張工事を行っています。

本事業は、平成27年度から開始し、本年度は文化財発掘調査を終え、拡張工事と電気工事に着手しました。平成30年度に舗装工事に着手し、年内完成を目指しています。

■道路管理

仙台松島道路をいつでも「安全・安心」、「快適」、「便利」にご利用いただくため、適切な維持管理に努めております。

(1) 維持改良業務

仙台松島道路維持改良費としては春日PA（上り線）駐車場拡張工事、ETC設備更新工事、料金収受機械設備工事、橋梁維持修繕工事、道路保全業務委託、橋梁定期点検業務委託、財産整理業務委託、除草業務委託等を実施しました。

(2) 道路管理業務

仙台松島道路管理費としては、料金収受業務委託、道路パトロール業務委託、料金収受機械保守業務委託、ETCマイレージサービス負担金、消費税等に係る経費を支出しました。

(3) その他

有料道路の建設に要した借入金の元利償還、職員の給与及び本社経費等となる一般管理費を支出しました。

■企画割引

ETC時間帯割引として、平日朝夕割引（利用回数に応じて最大50%還元）、深夜割引（30%割引）及び休日割引（30%割引）を実施しました。

また、東北地方の観光復興を目的として、ETC車限定で東北地方の高速道路が定額で最大3日間乗り放題となる「2017東北観光フリーパス」を東日本高速道路(株)と共同で実施しました。

さらに、東北地方へのインバウンド観光を呼び込むために、訪日外国人旅行客を対象にETC車限定で東北6県の高速道路が定額で最大14日間乗り放題となる「Tohoku Expressway Pass」の継続実施に加え、本年度から高速道路会社3社と一体徴収を行っている当会社を含む地方公社3社の路線が対象エリアとなる「Japan Expressway Pass」を東日本高速道路(株)と共同で実施しました。

■受託業務

みやぎ県北高速幹線道路は、東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結び、栗原圏域と登米圏域の交流・連携を強化する地域高規格道路であり、道路延長24kmのうち、Ⅱ期（中田工区）及びⅢ期（佐沼工区）の合計4.0kmに係る建設工事を宮城県から受託（平成27年度～平成32年度まで）しています。本年度は前年度に引き続き道路改良工や一級河川迫川に架かる1号橋の橋梁下部工を実施し、その上部工と佐沼IC側の舗装工事を新たに発注しました。

損益計算書

■仙台松島道路料金収入

平成29年度の料金収入は前年度から0.9億円増加し、59億円でした。

全線4車線化以降、走行の安定性や定時性が確保されたことに加え、安全性・利便性の向上が図られたことにより、交通量が増加したのが要因です。

■経常費用（償還準備金繰入額を除く）

平成29年度経常費用は前年度から10.2億円増加し、42.7億円でした。

ETC設備更新工事をはじめとする施設の老朽化対策工事を実施したことから、道路管理業務費が増加しました。

■償還準備金繰入額

平成29年度償還準備金繰入額は前年度から9.4億円減少し、18.1億円でした。

償還準備金繰入額とは、道路事業における収入から管理費と金利等を合わせた費用を差し引いた収支差で、有料道路建設に投下した借入金の返済に充てられます。

貸借対照表

■償還準備金

平成29年度償還準備金は前年度から18.1億円増加し、395.7億円でした。

償還準備金とは、道路資産の建設に投下した借入金の返済に充てた額の累計です。

■長期借入金（一年以内返済長期借入金を含む。）

平成29年度長期借入金は前年度から21億円減少し、108.1億円となりました。

仙台松島道路Ⅵ期事業・Ⅶ期事業の資金返済によるものです。

■償還率

平成29年度の宮城県道路公社全体での償還率は【償還準備金／道路資産×100】は69.4%となり、前年度と比較して3.2ポイント向上しました。